

第1回おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議 議事録要旨

平成23年11月2日(水)

13時15分～15時15分

会場：大田区立消費者生活センター 2階 大集会室

[配布資料]

- 資料1 おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議設置要綱
- 資料2 おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議委員名簿
- 資料3 平成23年度 ユニバーサルデザインのまちづくり庁内推進委員会委員名簿
- 資料4 大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針（平成23年度～30年度）の概要
- 資料5 おおたユニバーサルデザインのまちづくりパートナー（UDパートナー）制度について
- 資料6 ユニバーサルデザイン福祉のまちづくり事業（東京都）の指定地区
山王・馬込・池上周辺地区
- 資料7 おおたユニバーサルデザインのまちづくり区民推進会議 部会の設置
- 参考資料
 - ・大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針
 - ・大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針（概要版）

[出席者]

（区民推進会議委員） 15名

産業能率大学教授 齊藤委員/公募 大内委員/公募 李委員/NPO 法人大身連 宮澤委員/大田区知的障害者育成会 佐々木委員/レモンケアサービス 柳谷委員/ひとにやさしいまちづくりを進める大田区民の会 高橋委員/大田区自治会連合会 小山委員/特定非営利活動法人 男女共同参画おおた 古澤委員/NPO 法人日本語ぐるりっと 飯島委員/大田区商店街連合会 鷹西委員/大田観光協会 鳴島委員/東日本旅客鉄道株式会社 植松委員/京浜急行株式会社 島村委員（代理）/東京急行電鉄株式会社 佐藤委員

（庁内検討委員） 14名

福祉部長/まちづくり管理課長（代理）/経営担当課長/広報課長（代理）/国際都市担当課長/観光課長（代理）/高齢計画課長/障害者施設計画担当課長/子育て支援課長/都市開発課長（代理）/住宅課長（代理）/都市基盤管理課長（代理）/連続立体事業再開発担当課長/教育委員会指導課副参事

（事務局）

福祉管理課長/福祉管理課担当係長/福祉管理課担当/まちづくり管理課計画担当係長/まちづくり管理課担当

（傍聴者） 1名

[次第]

1 開会

開会のあいさつ 福祉部福祉管理課長

2 委員委嘱

副区長より各委員に委嘱状を交付

3 副区長あいさつ

4 会長、副会長の選出

会長に産業能率大学教授の斉藤委員、副会長に NPO 法人大身連の宮澤委員を選出

5 会長、副会長あいさつ

(上記 次第 1 から 5 までは非公開のため省略。)

6 ユニバーサルデザインについて

斉藤会長より「ユニバーサルデザインについて」のお話

7 大田区ユニバーサルデザインのまちづくり基本方針の概要

事務局より資料について説明

8 おおたユニバーサルデザインのまちづくり事業について

事務局より資料について説明

9 部会の設置について

事務局より資料について説明

10 意見交換

A 委員

今日のいろいろな報告をうけまして、私が興味をひいたのが、東京都のユニバーサルデザイン福祉のまちづくり事業（東京都）の指定地区に選定されたことです。選定されるにあたり、東京都がどういうところで評価したのか、わかれば教えてください。

都市基盤管理課長（代理）

大田区がユニバーサルデザインのまちづくりをしたいというところで評価を受けたポイントで個人的に思うところは、区民がまちづくりに参加して意見を言いそれを反映していくというところが一番大きな採用のポイントではないかなと思います。行政側だけでマニュアルに則ってまちを作っていくというところだけでは評価は受けられなかったと思います。パートナー制度を作ったのもそのためです。区民の意見をどうやってまちづくりに反映させるか、それをやっていきたいというところを強くプレゼンテーションでは押したというところがあります。それが、一番の評価を頂いた内容ではないかと感じています。

B 委員

公募で委員になりましたユニバーサルスポーツを普及しています。今日、いろいろな説明の中で私が関心を持ったのは、やはり心のバリアフリーということで子どもたちの心の啓発・啓蒙、そういう事業をなんとかできないか。例えば、こ

こにある施設整備等に関する現地調査など。今まで10年間やさしいまちづくりの方々が中心になってたくさんの地域を点検してまいりましたが、こういう点検事業などに様々な人たちが一緒に取り組む事業を考えて欲しい。例えば、中学生・高校生が入ったり、子育て中の人やベビーバギーに子どもを乗せて参加したり、元気な高齢者が一緒に歩いてみたり、様々な人が一緒に入ってそういう視点で事業に取り組んでいくと面白いというか、考えてもみない意見が出たりしてまちが変わっていくのではないかと、そういう風に思っています。是非、そういう視点での事業をみなさんと考えていきたいと思っています。よろしくお願いします。

会長

ありがとうございます。世代を超えて、世代を繋いでそういう活動を基本に進めていくことは重要です。具体的には、そういう視点を織り込みながら進めていけたらと思います。

C委員

おたユニバーサルデザインのまちづくり事業の総合学習支援のなかで視覚障がい、聴覚障がい、車いすに加えて今年から知的障がい者の理解についてということで、先日、9月にはじめて池上小学校の4年生を対象に、私どもの会でここ3年間つづいている“心のバリアフリー進め隊”というワークショップをやるチームで初めて授業をさせていただきました。前日が、聴覚障がいの方たちの体験ということで児童の皆さんから手話で紹介をしていただいたところから始まりました。児童の皆さんには真剣に取り組んでいただきました。パワーポイントを使いましたが、真剣に入ってくるなと感じました。お子さんですので1回ただけでどこまで理解してくれたかなという思いはありますが、ただ子どものときに“ああ、そういう人がいるんだな”ということやどこかで聞いたよなということで、私は、最初はいいかないかと思っています。学校が授業をやっている間は、わたしたちの子どもたちは通所施設に通っていたり、企業に勤めている人はお仕事に行っているため、本人を連れて行くことができません。当事者が取り組んでいるやり方と違っているところが課題としてあります。今年も、また、山王小学校で実施することが決まっています。来年度は、もう少し広げていきたいと考えています。福祉管理課もそういう風に考えているようなので、教育委員会の御支援があればと思います。

D委員

私は、家庭の中が相手のことを思いやることのできる家庭になれば、家庭が変われば社会が変わると思っています。家での思いやりが大切だと考えています。区民からの提案・事業化は時間がかかり地道な作業ですが確実なものになっていくと思います。区民の意識を変えるための取り組みを行っていきたく。

E委員

映像に高齢者のふれあいパーク活動の写真が使われていましたが、この写真は4年ほど前に立ち上げました高齢者見守りネットワーク、通称みま～もの写真で

す。この活動は入新井、山王地区で行っているものです。本当は、この地区だけでなく大田区全域に広まって欲しいなと思っている活動ですので、この機会に是非広がっていただければと思います。

F 委員

徐々にですが、大田区内も歩道などが整備されて障害を持つものが移動しやすくなってきました。蒲田駅も東口、西口にエレベーターができたことで車いす、高齢者の方、ベビーカーの使用者がどれだけ助かっているかということを私自身、心から感じています。ただ、モラルが欠けてきていることを感じます。是非、この会議の中で皆さんと一緒に考えていきたい。心のバリアフリーの啓発は、子どもたちに対しては総合学習でおこなわれていますが、肝心の大人のモラルはどうかというのが感じられます。蒲田の商店街で移動するたびにいやな思いをさせられます。推進会議の中でモラルアップについて検討していただければと考えています。

G 委員

障害の違いに気づくという一例をあげます。蒲田、大森駅前の段差の例ですが、視覚障がい者には車いすに乗っていただき車いす利用者には目隠しして白杖を使っていただいて、車椅子利用者と視覚障がい者の双方が移動できる段差を検討しました。双方の障がいの違いに気づくことで、双方が移動できる段差が0.5cmになり、歩道と車道の境に黄色のゴムをいれたセーフティブロックを導入することとしました。国の基準では2cmです。違いを越えたまちづくりをすすめていくことが、ユニバーサルデザインだと思います。このような取り組みを今後さまざまな場面で行っていきたくと思っています。よろしくをお願いします。

会長

こういうかたちで、これから推進会議を進めてまいります。今、各委員がご指摘したように実践していくことは、われわれの価値観が問われているのだと思います。同時に、皆様が言われているようにあらゆる区民の方々の視点とか、力を合わせて進めていくことが大事です。思い・思いやりという言葉がありましたが、自分たちの考えていることをより多くの人と連携して形に表していく、実行していく。そのために、議論しながら取り組みを精力的に進めていきたいと思っています。今日の議論を踏まえて、皆様の積極的な参加と多くの方への呼びかけを行っていただければと思います。

11 次回開催

24年2月頃を予定しています。

12 閉会

閉会のあいさつ 福祉部長

本日は、基本方針ができてからはじめての推進会議でした。斉藤会長、宮澤副会長はじめ委員の皆様ありがとうございました。今後も、熱心で活発なご議論をお願いしたいと思います。その議論を区はしっかりと受け止めて、区民の皆様とともにユニバーサルデザインのまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。引き続きよろしくお願いたします。本日は、ありがとうございました。